

目 次

論 說

1. 八幡製鐵所洞岡第二熔鑄爐に就て	山 岡 武	957
2. 分塊作業の時間的考察	島 村 哲 夫	980
3. 高速度鋼の焼入組織に及ぼす酸化脱炭の影響	村 上 武 次 郎 八 田 篤 敬	993
抄 録		998

2) 耐火材並に燃料及驗熱	○熔銑爐の滓と瓦斯に就て	量及び電氣抵抗の變化
○氣體干涉計によるガス中のベンゾール測定	○熔銑爐高級鑄鐵	○金屬化合物の分解
○コークス爐ガス中のオレフィン及びパラフィンの簡便な測定法	7) 鐵及び鋼の性質並に物理冶金	○デラルロン合せ鉄の耐蝕性に及ぼす熱處理の影響
○コークスの着火温度及びその燃焼を持續せしむるに要する空氣量	○高温高压に於て水素及び硫化水素による鋼の腐蝕	○強力鑄造用非鐵合金に就て
○炭酸ガスに對するコークスの反應性を測定する改良法	○鋼塊中の瓦斯及び固體の不純物	○時效硬化に及ぼす静水壓力の影響
○固體炭素の反應性を正しく測定する一新法	○ニッケル鋼の低氣温に於ける衝擊抵抗	○アルミニウム中のナトリウムの溶解度に關する實驗
○コークスの反應性	○パテントせる鋼線の耐久性に就て	○2種の多元系青銅の熱處理と硬化
○高温に於ける工業用ガス及び蒸汽の比熱	○鍛鋼品製造に關する實際的考察	○特殊青銅の性質
○石炭の濕式酸化	○シリンダーライナー磨耗量の減少例	9) 化學分析
3) 銑鐵及び合金鐵の製造	8) 非鐵金屬及合金	○眞空熔融法に依る鋼中の酸素定量
	○耐磷酸金屬材料	11) 雜
	○Al-Cu合金の析出硬化に伴ふ熱	○世界金屬産額の新舊

雜 録

○規格統一調査會第 14 回總會	○歐米鐵鋼界便り	9 月分鐵鋼材生産高調
○濠洲亞鉛引鐵板需給狀況	○英佛獨(1935 年上半期)品種別鋼材生産高	○昭和 10 年外國銑輸入高表
○米國亞鉛鍍鐵板及び薄板の生産並需給狀況	○内外最近刊行誌參考記事目次	○昭和 10 年 9 月中重要生産月報拔萃
○墨國の鐵屑輸出入稅率改正	○主要製鐵所に於ける昭和 10 年	
○特許出願公告及特許拔萃		1021
日本鐵鋼協會記事 (日本鐵鋼協會第十五回講演大會狀況報告)		1023
商 況 (販賣旬報第 27. 28. 29 號)		1026

“TETSU TO HAGANE”

THE JOURNAL OF THE IRON AND STEEL INSTITUTE OF JAPAN.

Vol. XXI, No. 12. December. 25. 1935.

On the Construction of the Kukioka No. 2. Blast Furnace at Yawata. by Takeshi Yamaoka, <i>Kogakushi</i>	957
Research of the Time Studies of Blooming Mill Practice. by Tetsuo Shimamura, <i>Kogakushi</i>	980
The Effect of Decarburization on the Microstructure of Quenched High Speed Steels by Takejirō Murakami, <i>Rigakuhakushi</i> and Atsuyoshi Hatta <i>Kogakushi</i>	993
Abstracts	998
Miscellaneous	1013
Patents	1021
Proceedings of the Institute	1023
Iron and Steel Market	1026

PUBLISHED AT THE INSTITUTE OFFICE.

Mitsubishi Nijuichi-go-kwan, No. 2, Marunouchi-Sanchome, Kojimachi-ku,
TOKYO JAPAN,
(Tel. Marunouchi, No. 3,626)